

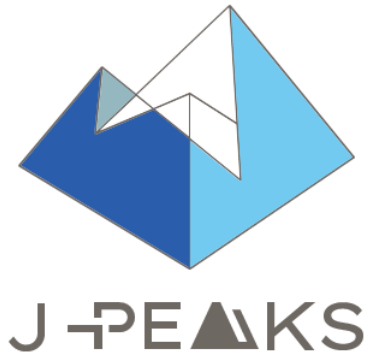
「地域中核・特色ある研究大学の振興」 事業設計委員会 第5回

議事次第

- 1． 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の進捗状況について
- 2． 事業設計委員会における検討事項と論点について
- 3． その他

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) の進捗状況について

※非公開情報を含むため該当頁削除



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

背景・課題

- 近年、我が国の研究力の低下が指摘されている中、**日本全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため**には、大学ファンドによる国際卓越研究大学と、**地域中核・特色ある研究大学*が共に発展するスキームの構築が必要不可欠**
 - * ①強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能、②地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能、③地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、地域課題解決をリードする機能：これらのいずれか又は組み合わせた機能を有する大学
- そのためには、地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていきけるよう、特定分野の強みを核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくことが重要

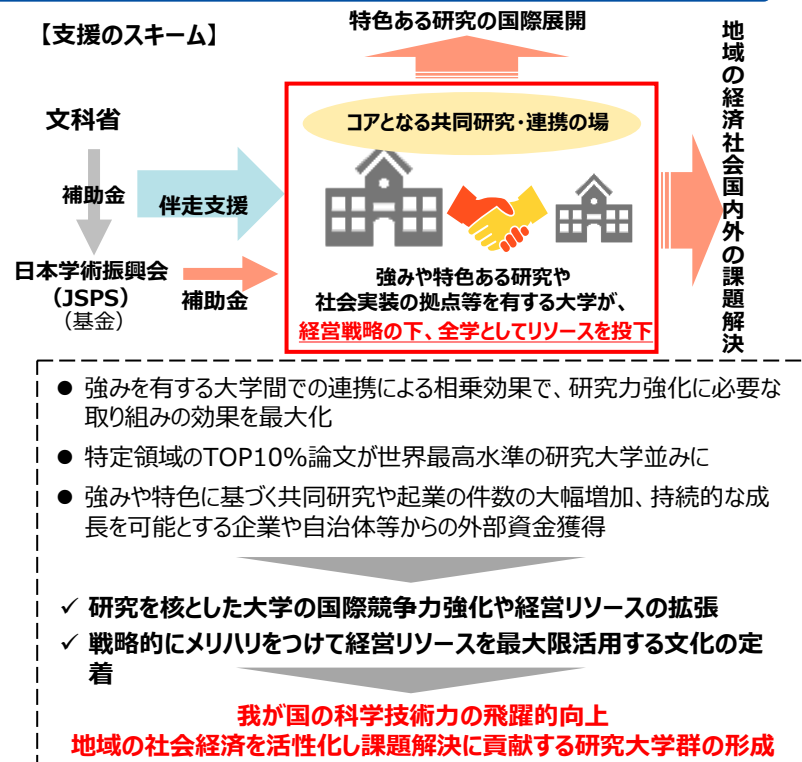
事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、**各大学が10年後の大学ビジョンを描き、そこに至るための、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下**、大学間での連携*も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった**環境構築の取組を支援**

* 連携を行うことが目的ではなく、学内に不足するリソースや課題を戦略的に補完するために連携

【事業概要】

- 事業実施期間：令和5年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：最大25件程度（令和5年度に12件採択済）
- 支援対象：
 - 強みや特色ある研究や社会実装の研究拠点（WPIやCOI-NEXT等の拠点形成事業、地方自治体・各府省施策、大学独自の取組等によるもの）等を有する国公立大学のうち、**研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する大学**
- ※ 5年度目を目標に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文部科学省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目標）
- 支援内容：
 - A) **戦略的実行経費**（最大25億円程度（5億円程度／年）／件）
研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の人件費、調査その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費
 - B) **研究設備等整備経費**（最大30億円程度／件）
研究機器購入費、研究・事務DX、研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費等



令和5年度における審査の過程について

令和5年

4月28日（金）	事業推進委員会（第1回）（公募要領等の審議）
5月17日（水）	事業推進委員会（第2回）（公募要領等の決定）
5月26日（金）	公募開始
6月7日（水）	公募説明会
6月20日（火）～6月26日（月）	申請意思表明書提出期間
7月13日（木）	事業推進委員会（第3回）（審査の進め方の審議）
7月26日（水）	申請調書提出期限（提出は69件）
8月上旬～9月下旬	一次審査（書面審査）
10月16日（月）	事業推進委員会（第4回）（一次審査評価結果に基づく二次審査（ヒアリング）対象大学の選定）
11月上旬～11月中旬	二次審査（ヒアリング）
12月5日（火）	事業推進委員会（第5回）（ヒアリング審査を踏まえた審議）
12月18日（月）	事業推進委員会（第6回）（採択候補大学の選定）
12月22日（金）	採択大学の決定・公表

※「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」については、「事業推進委員会」と記載。

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会 委員名簿

	上山 隆大	総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
○	坂田 一郎	東京大学大学院工学系研究科 教授、 東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長
	佐藤 康博	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
	高橋 真木子	金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授、 一般社団法人 R A 協議会 副会長
	西村 訓弘	三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授
	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長
	波多野 睦子	東京工業大学工学院 教授
	福田 秀樹	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 顧問
	福田 裕穂	公立大学法人秋田県立大学 理事長・学長
	福原 紀彦	日本私立学校振興・共済事業団 理事長
◎	山崎 光悦	福島国際研究教育機構 理事長

◎：委員長 ○：副委員長

(50音順・敬称略)

国/公/私	提案大学（連携大学※） 参画機関※
国立大学 (9)	北海道大学 The University of Melbourne/University of Massachusetts Amherst/北海道立総合研究機構/ 室蘭工業大学/小樽商科大学/帯広畜産大学/北見工業大学
	フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな 持続的食料生産システムの構築と展開
	千葉大学★ 東京大学/筑波大学/東京理科大学 生命医科学研究所/理化学研究所/量子科学技術研究開発機構/ University of California San Diego, Center for Mucosal Immunology/University of California San Diego, Allergy and Vaccine/University of California San Diego, Center for Microbiome Innovation
	免疫学・ワクチン学研究等を戦略的に強化し、成果の社会実装 に繋げるとともに、取組を学内に横展開する
	東京農工大学★（電気通信大学/東京外国語大学） University of Hawai'i at Mānoa/The University of Queensland
	西東京の三大学が食とエネルギー研究を海外展開し、国際イノ ベーション創出するための研究力強化を推進する
	東京芸術大学★（香川大学） 東京大学/東京医科歯科大学/東京工業大学
	アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベ ーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開
	金沢大学★（北陸先端科学技術大学院大学） 東京大学
	予測不可能な時代の社会変革を主導する文理医融合による非連 続的なイノベーションを起こす世界的拠点の形成
	信州大学★ 山梨大学/東京大学/名古屋大学/東京理科大学/ダルエスサラーム大学/ネルソン・マンデラア フリカ科学技術大学/エルドレッド大学/チュロンコン大学/モンクト王工科大学ラートクラ ン校/ヴェトナム国家大学/北京化工大学/サウジアラビア海水淡水化公社
	水関連先鋭研究を核に、研究の卓越性、イノベーション創出、 地域貢献を三本の矢として一体推進する
	神戸大学★（広島大学） 大阪大学/理化学研究所/The University of Manchester/Université de Toulouse/The University of Illinois at Urbana-Champaign/National University of Singapore/The University of Texas at Austin
	バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界 をリードするイノベーションを継続的に創出
	岡山大学★ 筑波大学/東京大学/東京工業大学/山梨大学/大阪大学/山口大学/理化学研究所/自然科学研究 機構/津山工業高等専門学校
	地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学 ～持続可能な社会を実現させる 10 年構想～
	広島大学★（神戸大学） 東北大学/東京医科歯科大学/東京工業大学/豊橋技術科学大学/高エネルギー加速器研究機構/ア リゾナ州立大学/パデュー大学
	放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及 びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」（本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学）、
 小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

国/公/私	提案大学（連携大学※） 参画機関※	
公立大学 (1)	大阪公立大学★（長岡技術科学大学） 東北大学／奈良女子大学／徳島大学／大阪公立大学工業高等専門学校／ニューメキシコ大学／ブラウン大学／王立ブノンペン大学／国立台南大学／パンヤピワット経営大学	イノベーションアカデミー事業の推進によるマルチスケールシンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築
私立大学 (2)	慶應義塾大学★（沖縄科学技術大学院大学） King's College London／University of Cologne／Yonsei University／Northwestern University	智徳の協働で、多様な研究拠点を生み出し育む「土壌」を醸成し、比類なき研究で未来のコモンセンスをつくる
	沖縄科学技術大学院大学★（慶應義塾大学、琉球大学） 東京大学／東北大学／大阪大学／九州大学／理化学研究所／University of Cambridge／Max Planck Institute／Stanford University／Scripps Institution of Oceanography, UC San Diego／University of Hawaii／Centre national de la recherche scientifique／Chalmers University of Technology／University of Oxford	【OIST-neXus戦略】国際卓越性追求、破壊的イノベーション創出、沖縄振興、ゲートウェイ機能強化

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」（本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学）、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

採択大学：12（国立9、公立1、私立2）
（申請大学：69（国立39、公立7、私立23））

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業令和 6 年度公募スケジュール等

○スケジュール

令和 6 年

5月28日（火） 公募開始

7月29日（月） 提出期限

8月上旬 審査開始

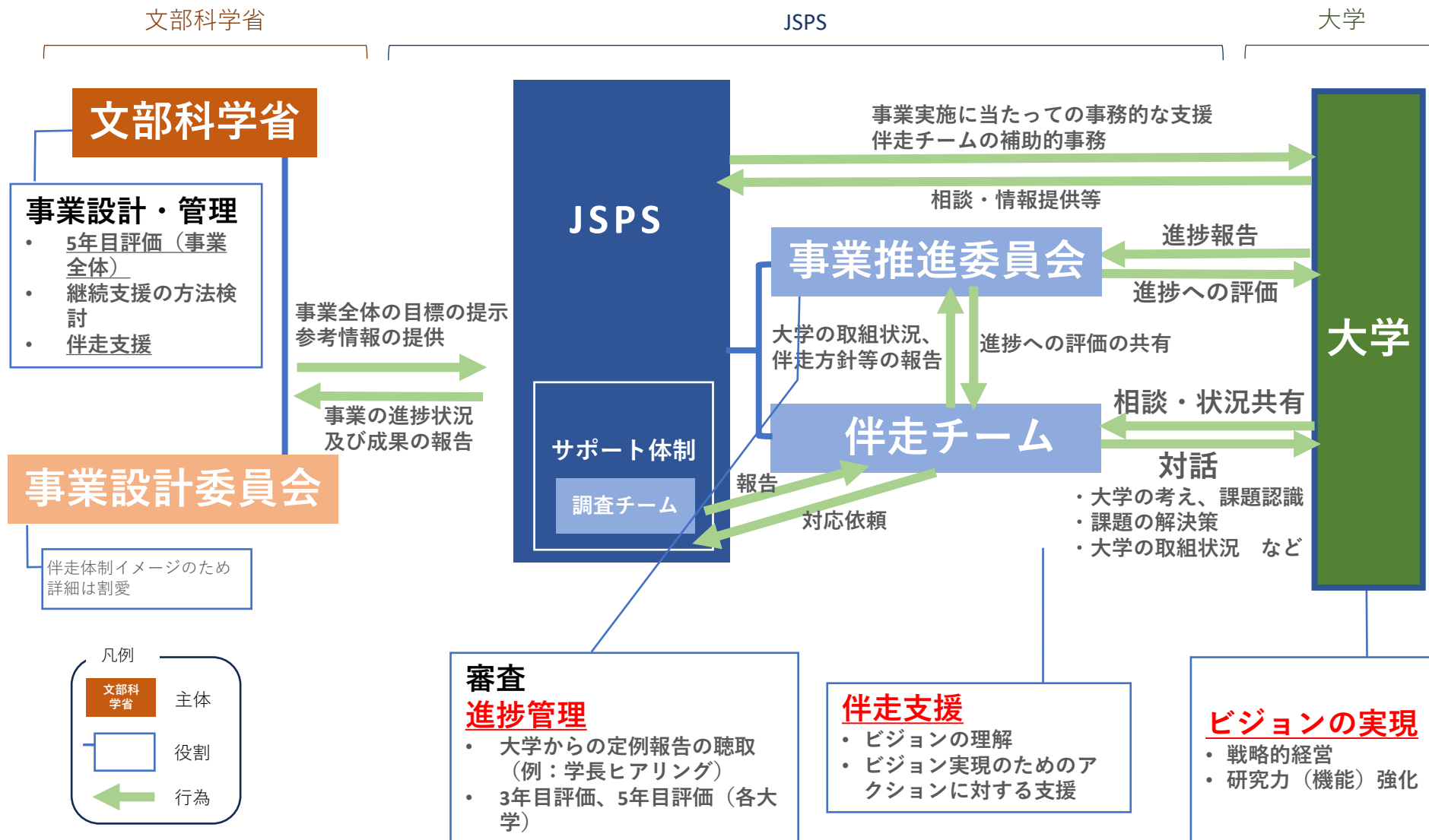
（書面審査・ヒアリング、必要に応じてサイトビジット）

令和 7 年

1月下旬 採択大学の決定（予定）

※審査の状況等により変更する場合がある。

制度骨子を基にした伴走支援体制イメージ



「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」伴走支援の基本的な考え方

（目的）

本事業（J-PEAKS）においては、採択大学が自ら設定した大学ビジョン（以下「ビジョン」という。）の実現に向けて自らの責任で取組を進めることを原則として、伴走支援では、採択大学が、設定したアウトプット・アウトカム指標達成のために効果的に取組を進められるよう、必要な助言・提案等を行うことを目的とする。

（体制）

伴走支援を行うため、日本学術振興会に伴走チームを置く。

（取組）

上記の目的を達成するため、伴走チームは以下の取組を行う。

① 大学の状況把握・可視化 大学の認識と伴走チームの認識を一致させ、関係者が同じ土俵でビジョン実現に向けた対話ができるように環境を整える。

・大学による主体的な取組を支援することを原則とし、ビジョンの見直しを要求したり、取組を指示したりはせず、大学側に気づきが生まれることを期待して対話を行う。

② 大学間の連携促進 採択大学間の連携を促し、共通する課題に対する好事例・ノウハウの共有等を推進する。

・情報共有による個別大学の発展だけでなく、研究大学全体の発展に資するうねりが生まれることを誘導する。

③ 大学への助言・提案 大学においてビジョンの実現のために必要と判断した具体的な取組に対して、実効性を高める観点から専門的知見に基づく助言等を行う。

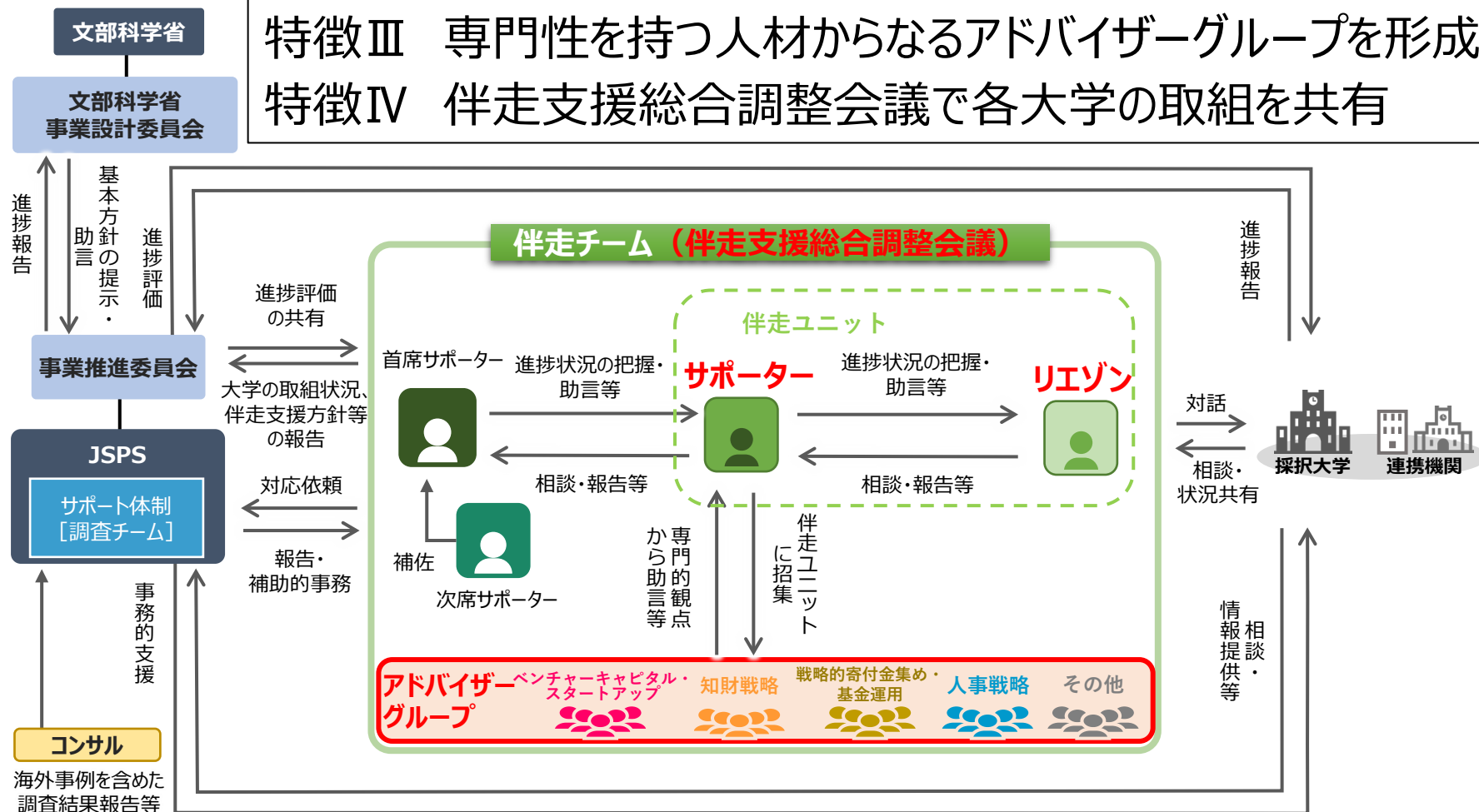
・大学の責任で行う具体的な取組の質を高めるための助言・提案等であり、自らの責任で行う取組の代行は行わない。5年間の支援期間中に専門的知見についても大学に根付くように促す。

④ 評価を踏まえた改善の支援 事業推進委員会から指摘された改善事項に対する大学における具体的な改善を促す。

・一方的に改善を要求するのではなく、どうすればより良い改善が図られるかをともに考え、具体化を促す。

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」伴走支援の運営体制イメージ

- 特徴Ⅰ リエゾン（全12名）は各採択大学から選任
- 特徴Ⅱ 1 サポーター（全6名）が基本的に2大学を担当
- 特徴Ⅲ 専門性を持つ人材からなるアドバイザーグループを形成
- 特徴Ⅳ 伴走支援総合調整会議で各大学の取組を共有



採択大学へ機能①～③について共通指標区分を提示しています。

機能①に関する指標区分
研究成果に関する指標
外部からの資金獲得に関する指標
機能②に関する指標区分
新しい価値の創造に関する指標
社会実装に関する指標
国際的な活動に関する指標
機能③に関する指標区分
地域課題解決に向けた取組に関する指標
経済効果に関する指標

✓ 伴走チームとの対話に向けた意識合わせ

✓ アウトプット・アウトカム指標の見直し

✓ 研究大学群の形成に向けた進捗管理や分析等

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業設計委員会における検討事項と論点について

※非公開情報を含むため該当頁削除

今後の予定

※非公開情報を含むため該当頁削除